

# 社会福祉部

町連社会福祉部 部長 長谷 健治

## ●町連社会福祉部十年の歩み

町内連合会が発足して60年を迎えるにあたり、今までご苦勞された役員並びに会員の方々に御礼申し上げます。

東札幌に居を構えるようになって、40年になりますが、当時と現在では、様相が変わり地下鉄が走り、高層ビルマンションが建ち並んで都会という感じになりました。私の住む共栄町内会も同様、60年共に歩む中で町内の役員として道路交通部、防犯防災部そして社会福祉部と手掛けてきました。先代社会福祉部、斉藤弘吉さんが体調を崩されてその後を継ぐことになり、入部浅い部署で大変なことばかりでした。

町連では、副部长、加藤寛治さんが部長として、副部长として上村正子さんと私が受任して新しい部会が誕生しましたが、その二年後、部長、副部长共に突然退任され、一人残された私に町連会長から、「今後は部長として副部长2人適任者を探し、部をまとめていってほしい」と言われ、自信はないけれど助けていただけるとのことなのでお受けしました。今年で4年目、元部長が心掛けて来た「敬老にちなんで、祝品の贈呈を続けていってほしい」との言葉を残されました。わたしは、元部長の思いを大事にしていきたいと思います。

二十年前に始めた当時は、80歳以上の方全員（400人）に送りましたが、5年後になると、550人とふくれ上りました。そのため、次の年から年齢を基準に80歳、85歳、88歳、90歳以上と年代に合わせて

贈ることに決めると、2500人に減りましたが、その後十年経つと、また5000人を超すようになり、平成28年に前部長が85歳になる人を除き、現在に至っております。毎年、贈呈対象となる高齢者数が増加しておりますが、一方で、予算や贈呈数には限りがあり、今後この件で、良い方向に向けて部内で協議を行ってまいります。

全国的に少子高齢化社会が進んでおりますが、この白石区においても例外ではありません。町連社会福祉部では、増加する高齢者に目を向けられがちですが、少子という大事なことも忘れてはならないと思っております。現在、行政、地域団体及び企業が連携して、子育てしやすい環境、街づくりを目指しておりますが、東札幌町連としても、今後取り組んでいかなければならない課題の一つになるものと考えております。

私ごとですが、来年80歳を迎え、高齢者の仲間入り余儀なくされます。

今後は、部員の皆様と協議し部の発展を図っていきたいと思います。

最後に東札幌町内連合会の皆様がより良い生活環境の中で過ごせるよう心からお祈りしています。ありがとうございます。



敬老祝い品準備



日章中との除雪ボランティア